

クレオ大阪 中央 南 東

本格的な大ホールを使ってみませんか

クレオ大阪(中央)・(南)・(東)にコンサートホールがあるのをご存じですか?音響も照明もプロ仕様。なのに、利用料金はかなりリーズナブル。個人・団体を問わず、どなたでも使えます。

今回は(南)の舞台技術者の和田さんが、みなさんからの質問にお答えします。



見学だけでも
よろこんで!!

2021年3月末まで
ホール利用料金半額!



プロ仕様のホールですが敷居は低いです!!

〈南〉の大ホール

〈南〉の舞台技術者:リッジクリエイティブ(株)の和田さん
「〈南〉の舞台のことなら何でも聞いてください!」

Q: アマチュアでも使えますか?

A: アマチュア、学生はもちろん、プロの方も気軽にお使いいただけます。

クレオ大阪のホールの魅力は、誰でも気軽に使えること。たとえば保育園の発表会、クラシックバレエ、学生のダンスサークルや吹奏楽部の発表会、ピアノ教室の発表会など、年間を通して団体・個人を問わずご利用いただいています。

午前(9:30-12:00)・午後(13:00-17:00)・夜間(18:00-21:30)の3区分からお選びいただけます。

Q: 準備や当日の段取りなど相談できますか?

A: もちろんです。事前準備から本番終了までしっかりとサポートします。

ホールの利用が初めてという方も安心してお使いいただけるように、照明や音響、機材の段取り、時間配分など、準備から本番終了までしっかりとサポートします。〈南〉には私(和田)が常駐していますので舞台技術のことについては、ささいなことでもご相談ください。



各館ともステージの音がホール全体にバランスよく響く設計です。



各館に親子室を完備。ガラス越しに鑑賞できます。



〈南〉ホール前のロビーは展示やイベントなどにもお使いいただけます。

※この頁の写真はすべて〈南〉

Q: 利用料金はいくらぐらいですか?

A: 料金は使い方によって異なります。効率のよいご利用方法もアドバイスします。

たとえば〈南〉と〈東〉の場合、一番リーズナブルな平日の午前中ならホール利用料 18,000 円から、一番高い土・日・祝日の午後でも 34,800 円からお使いいただけます。できるだけ料金を抑えられるように、目的に応じた効率的なご利用方法をアドバイスします。ほかに、舞台・音響・照明などの附属設備、舞台技術者派遣料、控室などの利用料金がかかります。

Q: いずれやってみたいと思うけれど・・・

A: 夢や目標を持っていきいきと過ごしたいですね。発表会やコンサートはもちろん、クラブやサークルの練習場としてもどうぞ。

カラオケや合唱、吹奏楽、ダンスなど、地域サークルで楽しまれている皆さん!クレオ大阪のホールで発表会やコンサートをしてみませんか。夢や目標ができると、生活にもハリがでます。もちろん、本番さながらの練習にもご利用いただけます。ステージに立てば、きっと胸が踊ることと思います。

詳しくはホームページでご確認ください

<p>中央 定員:996人 車いすスペース1・2階に各6台分、親子室あり http://www.creo-osaka.or.jp/chuou/01_holl.html</p>	
<p>南 定員:399人 車いすスペース3台分、親子室あり http://www.creo-osaka.or.jp/south/s_holl.html</p>	
<p>東 定員:382人 車いすスペース4台分、親子室あり http://www.creo-osaka.or.jp/east/e_holl.html</p>	

イベントレポート クレオ大阪 西

リコチャレ応援!

2020年8月20日(木)開催

小学生女子のための「サイエンスガールの実験室」

科学が好きな
女の子集まれ!



↑参加した子どもとサポートスタッフの大学生。ロボットをゴールまで動かすために、プログラム修正と動作確認をくりかえします。

←ペットボトル内に雲をつくる実験器具。上についた水色のポンプを使うと、一瞬で雲が発生します。

科学分野で活躍する女性の姿を見る機会にも

小・中学生の女の子の中にも、モノづくりや科学実験が好き!という子たちはたくさんいます。しかし実際に理系分野に進学し、就職する女性は、男性ほど多くはありません。(例えば大学学部生の女性の割合は、理学系 27.9%、工学系 15.4%※)そこで、クレオ大阪全館では、小・中・高生の子にに向けた独自のとりくみとして、リコチャレ応援(理工系にチャレンジ!)企画を行っています。

今回のプログラムは、小学生女子向けイベント「サイエンスガールの実験室」。小学3年生以上を対象に、大阪市環境局職員による「川の水質調べ」、気象庁大阪管区気象台職員による「ペットボトルで雲をつくる」、そして追手門学院大学の学生による「ロボットプログラミング」の3つの内容で行われました。女の子の多様な進路を応援するのはクレオ大阪の役目の一つ。今日は実験を楽しんだり、科学の分野で活躍している女性の姿を見たりして、将来の夢を見つけるヒントになればいいなと、期待がふくらみます。

※出展:文部科学省「令和元年度学校基本調査」



担当の有元さん



大阪市内の川に生息する魚の一覧表を食い入るように見る子どもたち。

子どもたちに多様な学びの機会を提供する

「水の汚れ具合って見た目では分かりにくいのですが、検査薬を使うと色で分かるんですよ」と、川の水質調べで講師を務める大江さん(大阪市環境局)。子どもたちは、施設の裏にある六軒家川の水質を検査薬をつけて確かめました。大阪の河川は以前より水がきれいになり多くの魚が住んでいること、でもごみなどによって水質はすぐに悪化してしまうことを学びました。「大阪の川にこんなにいろいろな魚が住んでいるなんて知らなかった」と、参加した5年生は驚きの様子でした。

雲を作る実験では、ポンプを使って気圧を急激に変えることで、ペットボトル内に真っ白い雲があらわれます。「空の雲もやかんの湯気も、実は水の状態が変化したもの。まずは身近な自然現象を好奇心を持って見つめてほしい」と、講師の高井さん(気象庁大阪管区気象台)。「なぜだろう?」という疑問を自分で調べてみる大切さを子どもたちに話されました。

ロボットプログラミングでは、大学生とチームになって課題にチャレンジ。タブレットでプログラムを組み、実際にロボットを動かして、くりかえし動きを修正します。最後の発表会では、思い通りロボットを動かせたチーム、うまくいかなかったチームといろいろ。でも目的は課題の達成だけではないと、学生と共に講師を務めた福田さん(追手門学院)は話されます。「ゴールに近づくために、自分の頭でしっかり考えてトライ&エラーをくりかえすことこそが大切。将来どんな職業についても必要なスキルですよ」。小学校では今年度から新学習指導要領に完全移行しました。より深い学びが求められる中、クレオ大阪のような公共施設で多様な学びの機会をつくることは、今後ますます大切になります。参加した5年生は「どのプログラムも楽しかった。将来は医療系の仕事につきたいです」と、目を輝かせて話してくれました。



←クレオ大阪 リコチャレ応援ページ
内閣府男女共同参画局 理工チャレンジ→

